



筑波大学附属病院 総合がん診療センター 講演会
平成22年度 がん診療連携拠点病院機能強化事業
がんプロフェッショナル養成プラン関東広域多職種がん専門家チーム養成拠点事業

今をいきいきと生きる

～「忘れられたがん」と闘う舞姫～

参加費
無料

2010.8.7 (Sat) 14:00 Start (13:30 Open)
つくば国際会議場 中ホール200 (定員200名)



Yurie Yoshino

吉野ゆりえ氏 プロフィール

大分県出身。筑波大学国際関係学類卒業。東京アナウンスアカデミー・専攻科卒業。大学在学中に「ミス日本」を獲得。大学卒業後、社交（競技）ダンスのプロとしてダンスの本場イギリスに10年間留学。世界的なトッププロダンサーとして国内外で活躍。元全日本ファイナリスト。現在、世界ダンス議会国際審査員。日本ダンス議会審査員。日本ブラインドダンス協会理事、事務局長。ウリナリ芸能人社交ダンス部特別講師。都立八王子盲学校外部指導員。フリーアナウンサー。

2006年の日本テレビ24時間テレビ『愛は地球を救う』より、芸能人社交ダンス部特別講師&ブラインドダンス（視覚障がい者のためのダンス）教師として、テレビに出演。2008年5月、自らが「忘れられたがん」と呼ばれる「後腹膜平滑筋肉腫」に侵されていることを、モクスペ『5年後、私は生きていますか?』（日本テレビ系）でカミングアウト、『いのちのダンス～舞姫の選択～』（河出書房新社）を出版。2009年2月9日に、肉腫（サルコーマ）の統括的な研究診断治療施設を日本に作るために、日本に「サルコーマセンターを設立する会」（JSCP: Japan Sarcoma Center Project, HP: <http://www.japan-scp.net/>）を正式に発足させた。2009年8月には、NHK総合テレビ『約束のチカラ』の中で、病と闘いながらも、プロのフラメンコダンサーとしてデビューを果たした。2009年9月には、国立がんセンター中央病院内に、日本初の「肉腫（サルコーマ）診療グループ」を誕生させることに成功した。

6度にわたる再発や両肺転移切除手術を乗り越え、自称「世界一明るいがん患者」である、自身の「今をいきいきと生きる」姿を綴ったブログ (<http://ameblo.jp/yurieyoshino/>) も発信している。

プログラム

14:00-14:10	あいさつ 五十嵐徹也 (筑波大学附属病院長)
14:10-14:20	総合がん診療センターについて 河合弘二 (筑波大学附属病院総合がん診療センター副部長)
14:20-15:00	吉野ゆりえ氏 講演 (前半)
15:00-15:10	休憩
15:10-15:40	吉野ゆりえ氏 講演 (後半)
15:40-16:00	みんなでストレッチ (吉野ゆりえ氏 指導)
16:00-16:20	質疑応答 国立がん研究センター中央病院 肉腫外来担当 牧本 敦医師も 質疑応答に参加されます。
16:20-17:00	著書サイン会

お申し込み方法

事前申し込みが必要です。
氏名、連絡先をご記入の上、下記までお申し込みください。
筑波大学附属病院総合がん診療センター
〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1
TEL: 029-853-8096 FAX: 029-853-3404
E-mail: ccc@un.tsukuba.ac.jp
※先着順。定員になり次第、メ切とさせていただきます。
また、都合により内容等が変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。